



創立 25 周年記念公開講演会

SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE
鈴鹿医療科学大学

看護学部・看護学科

地域に求められる看護

日時：2016年7月2日(土)13:00～15:00 (受付 12:30～)

場所：白子キャンパス・6号館・6101講義室 参加費：無料, 予約不要

演者：看護学部・看護学科

看護学部長：大西和子教授 老年・在宅看護：大淵律子教授

20世紀は、自然科学や科学技術の発展に伴い、近代医学が進歩してきた。先端技術を駆使した病気の診断・治療に多くの関心が寄せられ、人類の歴史とともにあったケアよりも効率、合理性に価値をおいてきた。ケアは精神的、社会的な個別性を考慮したものであり、目に見えやすい近代医学の価値観の前には説得力を失いがちであった。

21世紀は、高齢者の増加、生活習慣病などの慢性疾患の増加、医療費の高騰、医療に対する価値観の多様性、倫理的課題などにより、人々のQOLやwell-beingが求められるようになってきている。

看護ケアとは、ケアを受ける人を主体として、その人のニーズが満たされ、その人にとってのQOLやwell-being、健康の可能性を最大限にすることを目標とし、身体的、精神的、スピリチュアル、社会的な多側面の複合的でダイナミックなプロセスである。このプロセスにおいて、人々の生活様式や価値観など考慮した看護について、チーム医療のなかでの看護の役割について、看護の実践を通して皆さんと一緒に考えていきたい。

I. 看護の歴史・役割・専門性

- ・古代における看護：日本における看護， 三重県における看護
- ・看護(定義)：看護の対象
- ・看護の役割：看護師の役割， チーム医療の一員
- ・看護の専門性：看護の専門化， 大学・大学院教育

II. 地域における看護実践

- ・地域医療における訪問看護， 長野県佐久市の経験を通して

★ 問い合わせ先
白子キャンパス
Tel: 059-340-0550